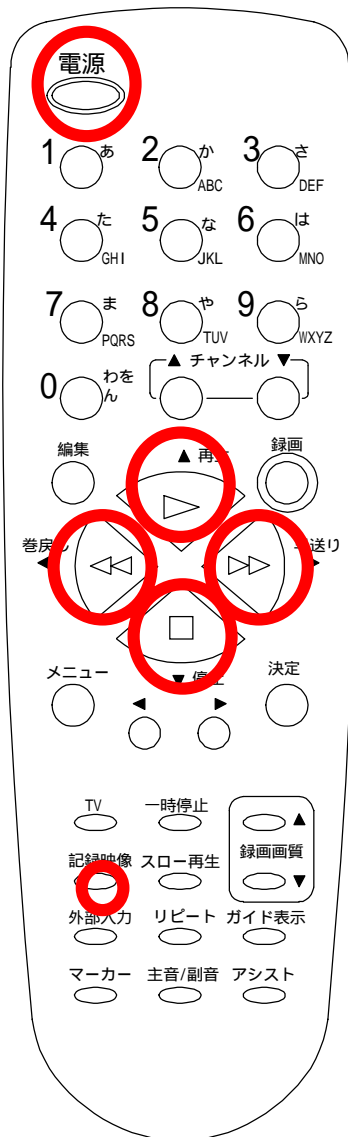


再生

録画したファイル(記録映像)を再生してみましょう。

ファイル(記録映像)を再生する

見たいファイル(記録映像)を選択して再生します。



準備をする

本機をテレビと接続し、テレビの入力を本機からの入力に切り換えます。

再生をする

- 1 [記録映像]キーを押す \uparrow 1

パネル

- 1 [(巻戻し)] [(早送り)] キーを押す

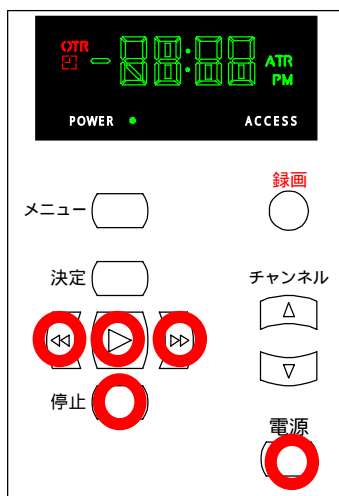
・テレビ放送または、外部出力が表示されている状態で [(巻戻し)] [(早送り)] を押すと「記録映像画面」を表示します。



- 2 [(巻戻し)] [(早送り)] キーで再生したいファイルを選択する

- 3 [再生]キーを押す

・再生が始まります。「動作状態表示」に「PLAY」を表示します。



レジューム機能^{†2}により前に再生を停止したところから再生が始まります。

- ・再生を止めたあと[再生]キーを押すと、止めた続きが再生されます
- ・ファイルの最初から再生を始めたいときは、[停止]キーを押せばファイルの最初に場面が移ります。

再生を止める

[停止]キーを押す

もう一度[停止]キーを押すと、ファイルの先頭にもどります。

†1 「巻戻し」、「早送り」キーを押しても「記録映像画面」になります。

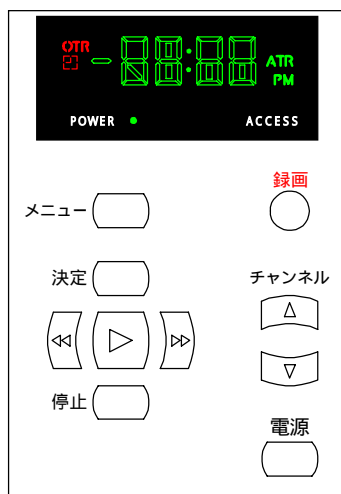
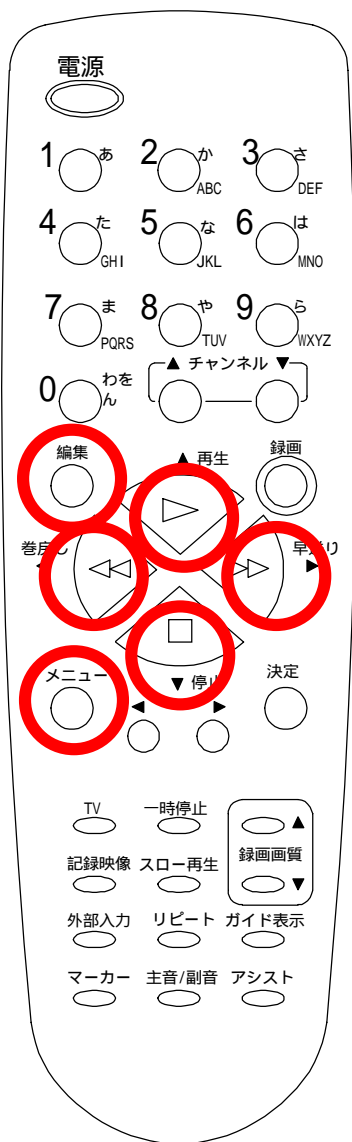
†2 レジューム機能について

本機には、最後に再生を止めた位置を記憶しておく機能があります。この機能は電源を切った後もファイル(記録映像)ごとに自動的に記憶しますので、次回そのファイル(記録映像)を表示したときには前回の続きを表示しますので、そこからすぐにご覧いただけます。

6分割の「サムネイル画面」から選んで再生する

ファイル（記録映像）の一覧画面のことを「サムネイル画面」と呼びます。

1画面に6個のファイルを表示して、見たいファイルを簡単にご覧いただけます。^{†1}



1 [編集]キーを押す

パネル

・本体パネルからはこの操作はできません

「記録映像画面」にて、[編集]キーを押します。

・「サムネイル画面」を表示します。



2 [(再生)][(停止)][(巻戻し)][(早送り)]キーで 見たいファイルを選ぶ

3 [メニュー]キーを押す

・「サムネイル画面」から抜けます。このとき選んだファイルの「記録映像画面」を表示します。



4 [再生]キーを押す

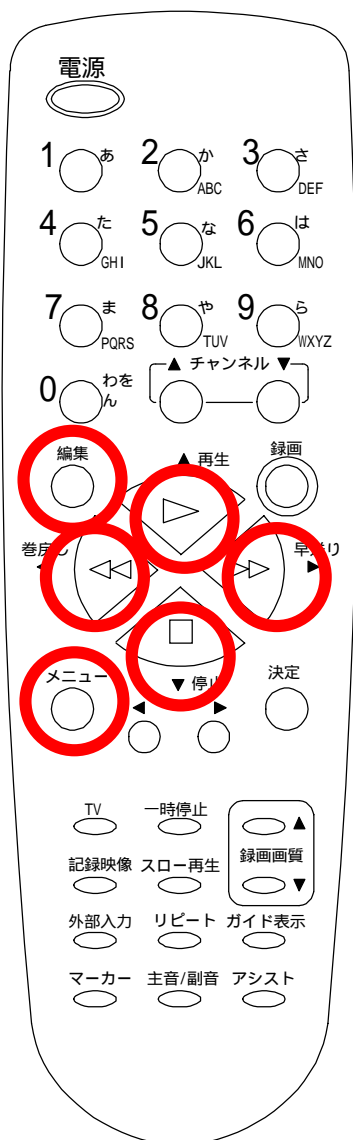
・選んだファイルの再生が始まります。

†1 この機能は録画、再生、メニュー表示をしていない場合のみお使いいただけます。

24分割の「サムネイル画面」から選んで再生する

ファイル（記録映像）の一覧画面のことを「サムネイル画面」と呼びます。

1画面に24個のファイルを表示して、見たいファイルを簡単に選んでご覧いただけます。†1



ロクラク・スーパーのみお使いいただけます。

24分割の「サムネイル画面」を表示するには、「画面表示の設定を変更する(P25)」をご覧になり、サムネイル表示タイプを「24分割」にしてください。

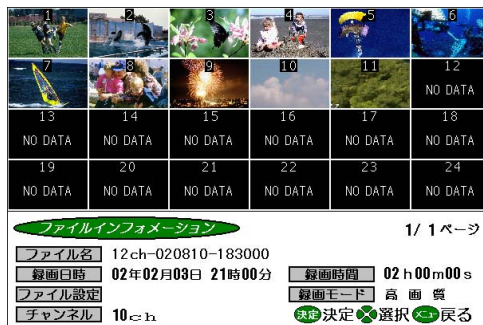
1 [編集]キーを押す

パネル

・本体パネルからはこの操作はできません

「記録映像画面」にて、[編集]キーを押します。

・「サムネイル画面」を表示します。



2 [(再生)] [(停止)] [(巻戻し)] [(早送り)] キーで 見たいファイルを選ぶ

3 [メニュー]キーを押す

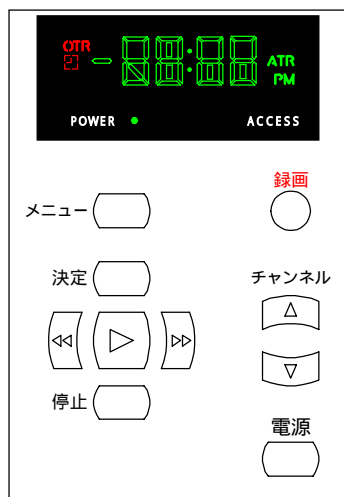
・「サムネイル画面」から抜けます。このとき選んだファイルの「記録映像画面」を表示します。



4 [再生]キーを押す

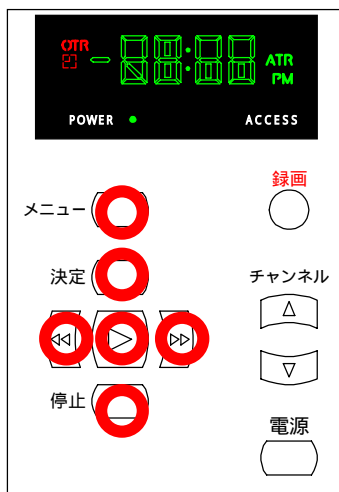
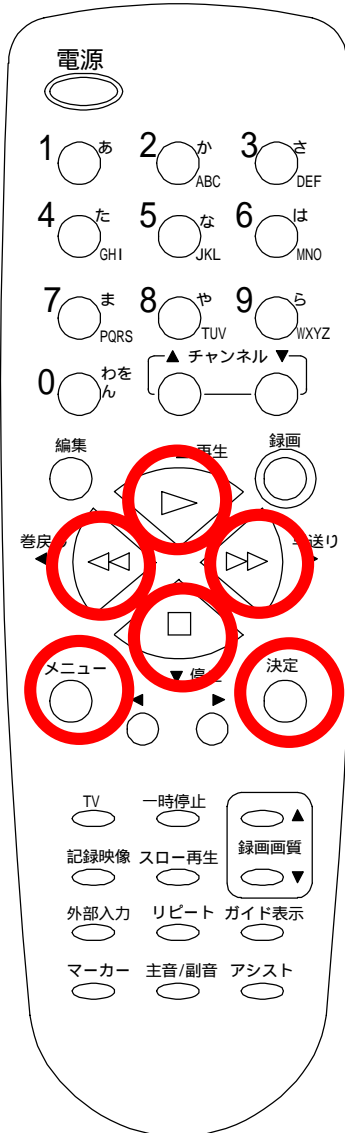
・選んだファイルの再生が始まります。

†1 この機能は録画、再生、メニュー表示をしていない場合のみお使いいただけます。



「サムネイル画面」から選んだ映像を連続再生する(プログラム再生)

ロクラクに記録されているファイルについて、あらかじめ再生順序を登録しておくことで、最大6個までのファイルを順番に再生していくことができる機能です。



1 「記録映像画面」で[メニュー]キーを押し、「ロクラク」メニューを表示する。

[記録映像]キーを押して「記録映像画面」にしてから、[メニュー]キーを押します。

パネル

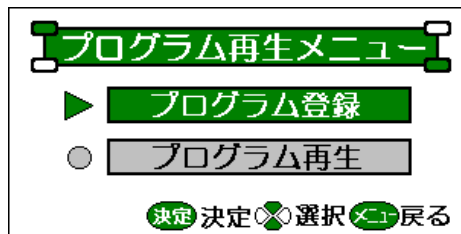
[(巻戻)]、[(早送り)]キーを押すと、「記録映像画面」に切り換わります。

次に[メニュー]キーを押します。



2 [(再生)] [(停止)]キーで「プログラム再生設定」を選び[決定]キーを押す

・「プログラム再生設定」を選ぶと次のような画面を表示します。



3 [(再生)] [(停止)]キーで「プログラム登録」を選び[決定]キーを押す

・「プログラム登録画面」を表示します。



4 プログラム再生登録を設定します

「プログラム登録画面」の上段(8画面)は、ロクラクに記録されているファイルのサムネイル画面を表示します。

「プログラム登録画面」の下段(6画面)は、プログラム再生で連続再生するファイルを、再生する順番に左づめで表示します。

ファイルをプログラム再生登録するには？

[(再生)] [(停止)] [(早送り)] [(巻戻し)] キーで連続再生したいファイルを選択し [決定] キーを押して下さい。

選択したファイルと同じ画面が「再生登録選択」に左づめで表示されます。

上の操作を繰り返すことにより、「再生登録選択」に最大6番組まで番組登録することができます。

実際に連続再生を始めるには、この章の手順5以下に進んで下さい。



登録したプログラム再生ファイルの登録解除をするには？

[(再生)] [(停止)] [(早送り)] [(巻戻し)] で「再生登録選択へ移動」にカーソルを移動し [決定] キーを押します。

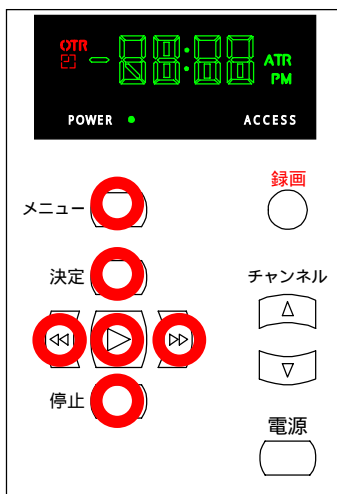
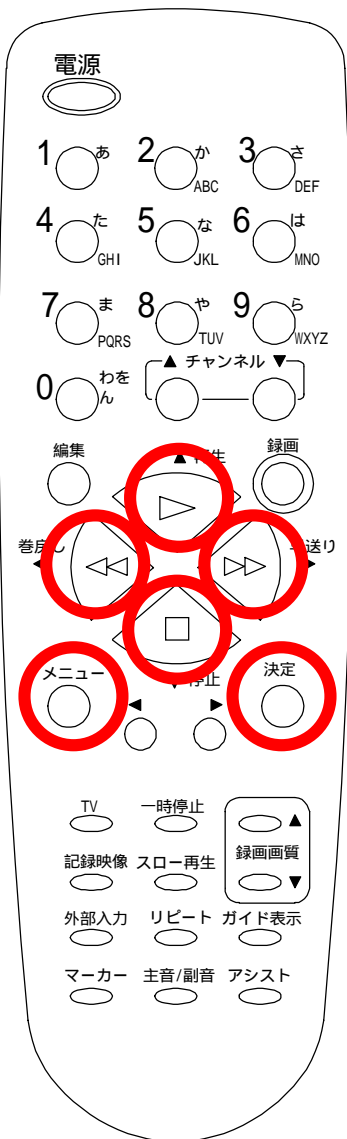
・「再生登録選択」にカーソルが移動します。

このとき「再生登録選択へ移動」の表示は「ファイル選択へ移動」と変わります。「再生登録選択」から「ファイル選択」に戻りたいときにこの位置までカーソルを戻し、[決定] キーを押して下さい。

(program 1 から [(巻戻し)] または、program 6 から [(早送り)] を押すと「ファイル選択へ移動」にカーソルが移動します。)

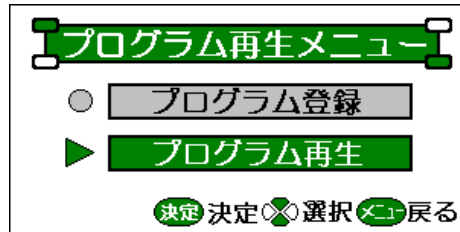
[(早送り)] [(巻戻し)] キーで連続再生をやめたいファイルを選択し [決定] キーを押します。「再生登録選択」から選択したファイルの表示が消えます。選択したファイルの右にすでに他のファイルを登録していた場合には、それらのファイルは左づめされます。

「再生登録選択」から「ファイル選択」に戻るには、[メニュー] キーを押して下さい。



5 [(再生)] [(停止)]キーでプログラム再生を選び [決定]キーを押す

「プログラム登録」から戻ると、プログラム再生メニュー画面を表示します。



6 [(早送り)]キーで「実行」を選択し[決定]キーを押す

[(早送り)]キーで「実行」を選択し[決定]キーを押すと、「プログラム再生を開始します。よろしいですか?」のメッセージが表示されます。



7 [決定]キーを押す

・[決定]キーを押すとプログラム再生を開始します。†1

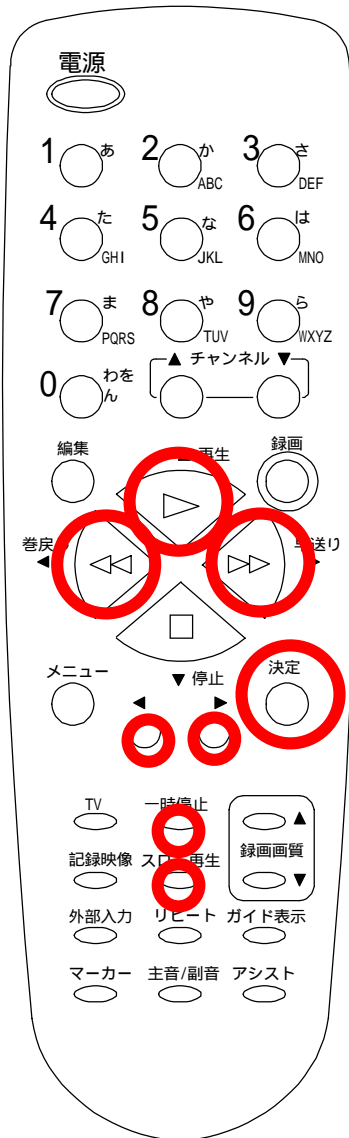


「リピート再生/裏録・録再生/プログラム再生表示」にプログラム再生中であることを示すマークを表示します。

P1 : マークの中の数字は何番目のファイルを再生しているかを表示します。(1から6までの数字を表示します。)

- †1 プログラム再生中にリピート再生(P76)を行うと、再生中のファイルを繰り返し再生します。
プログラム再生中に、再生中のファイル内で早送り、巻戻しなど(P73)が行えます。

進む / 戻る / 一時停止 / コマ送り / スロー再生 (トリック再生)

再生スピードを変えたり、一時停止したりするトリック再生^{†1}を行うことができます。

巻き戻す、早送りする

再生中に[(巻戻し)]キー、または[(早送り)]キーを押す

- ・画像を見ながら巻戻し(早送り)できます。
- ・[早送り]キー、[巻戻し]キーを押すたびに 4 倍速、16 倍速、64 倍速、256 倍速、999 倍速と切り換わります。
- ・ファイルの先頭まで戻ると自動的に通常速度の再生に戻ります。
- ・ファイルの終わりまで進むと、そこで一時停止します。

画像を一時的に止める(静止画再生)

再生中に[一時停止]キーを押す

- ・[決定]キーでも静止画再生ができます。

コマ送りで見ると見る(コマ送り再生)

再生中に[一時停止]キーを押す

- ・[一時停止]キーを押すたびに、1 コマずつ画像が進みます。
- ・[決定]キーでもコマ送り再生ができます。

スローモーションで見ると見る(スロー再生)^{†2}

再生中に[スロー再生]キーを押す

パネル

本体コントロールパネルから「スロー再生」の操作は行えません。

15 分進む / 15 分戻る(ジャンプ)

再生中にマーカー[] []キーを押す

- ・押した時点から 15 分前、15 分後にジャンプします。
- ・ファイルの先頭まで戻ると自動的に再生を開始します。
- ・ファイルの終わりまで進むと、そこで一時停止します。

パネル

本体コントロールパネルから「ジャンプ」の操作は行えません。

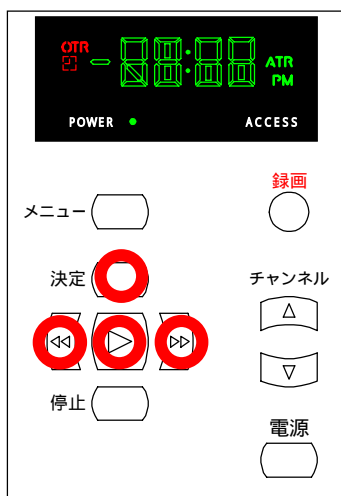
再生に戻す

[再生]キーを押す

†1 トリック再生中には音声は出ません。

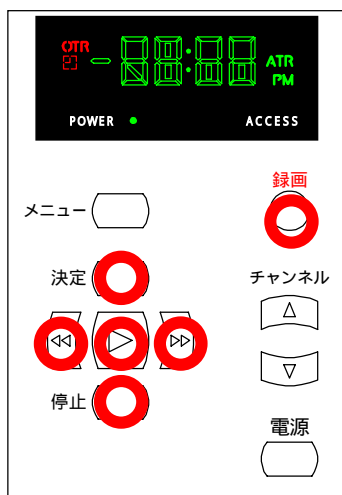
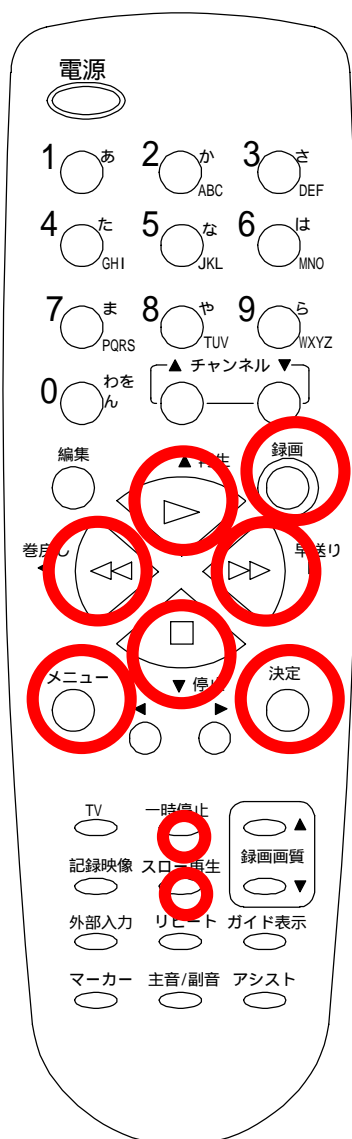
†2 スロー再生について(ロクラク・スーパー)

ビットレート 1.5Mbps 以下の低ビットレートで録画したファイルのスロー再生で、映像が止まり、再生できなくなることがあります。その場合は巻き戻し、早送りを行って下さい。




録画中に録画済みの部分を見る(追いかけて再生)

録画中に録画が終わっている好きな部分を見ることができます。†1



1 録画中に[一時停止]キーを押す†2

録画している映像と同じ映像の録再生(追いかけて再生)の一時停止(FREEZE)をした状態となります。

画面左上ガイド表示マーク()を表示します。

2 [再生]キーを押す†3

現在録画している映像の再生状態になります。



3 見たい場面を探す

早送り/巻き戻し: [(早送り)]キー / [(巻き戻し)]キーを押す

一時停止: [一時停止]キーを押す

コマ送り: 一時停止中に [一時停止]キーを押す

スロー再生: 再生中に [スロー再生]キーを押す

・普通の速さの再生に戻すには[再生]キーを押します。

・早送りなどをして録画している現在のテレビ番組に追いついた時には自動的に早送りが解除されます。

4 [停止]キーを押して再生を終了する

「表録画」状態になります。

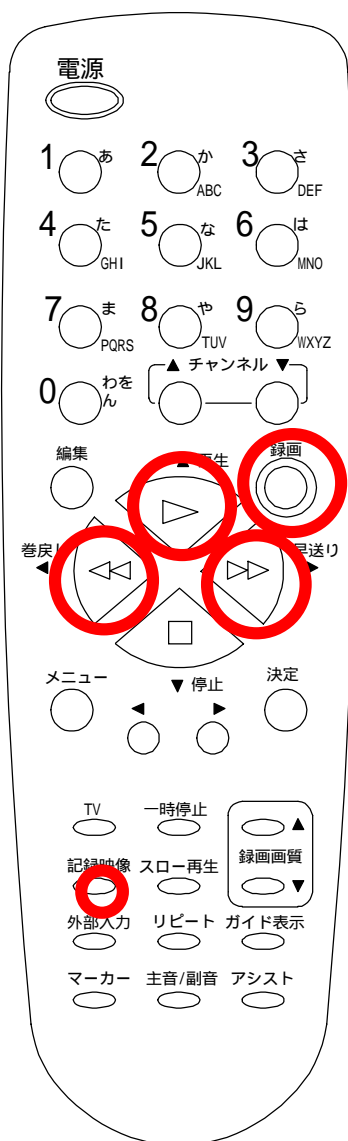
†1 リング録画中に、リングファイルを再生する追いかけて再生もできます。

†2 [決定]キーでも同じことができます。

†3 手順1を省略し、録画中に[再生]を押しても裏録状態になります。

録画中に別のファイル(記録映像)を再生する

録画中に別のファイル(記録映像)を再生して見ることができます。



1 録画をはじめる

2 [記録映像]キーを押す †1

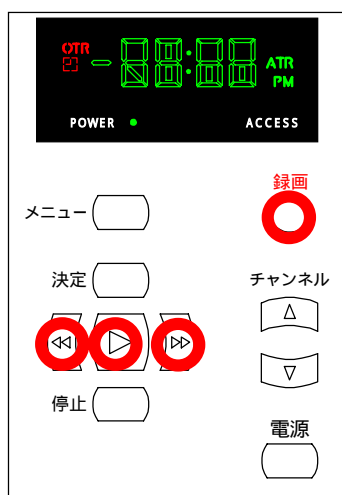
パネル [(巻き戻し)、[(早送り)]キーを押すと「記録映像画面」に切り換わります

3 [(巻き戻し)、[(早送り)]キーで見たいファイルを選択する

4 [再生]キーを押す

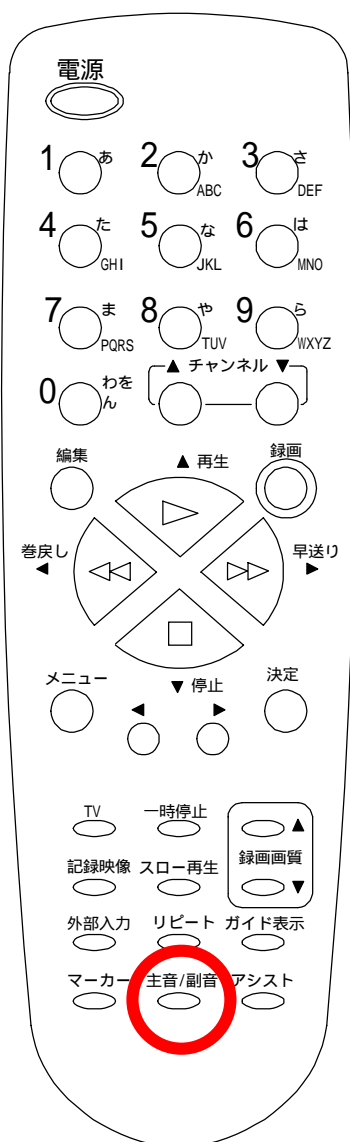
- ・選択したファイルの再生が始まります。
- ・[停止]を押すと再生中のファイルの再生が止まります。
- ・録画を止める時にはいったん[録画]キーを押して録画中の映像を表示させてから[停止]を押してください。

†1 「記録映像画面」として、録画中ファイルの静止画が表示されます。
注意：録画は継続しています。



音声を切り換える

主音声、副音声、主音声 + 副音声の切り換えをします。



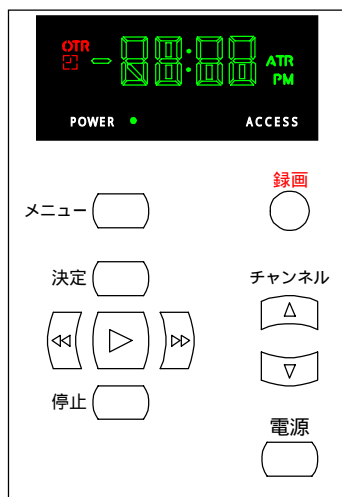
音声の入力を切り換えるには

1 [主音 / 副音]キーを押す

- ・音声の入力が切り換わります。
- ・音声多重放送の場合、主音声、副音声、主音声 + 副音声の順に切り換わります。

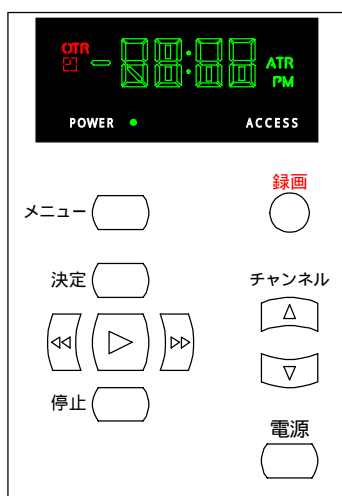
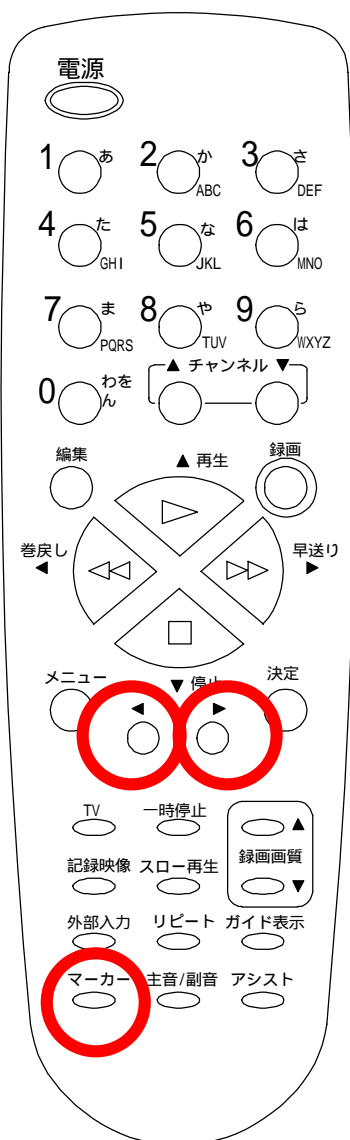
パネル

注意：本体コントロールパネルからは、音声の切り換えの操作は行えません。



マーカー機能

お好み位置への頭出しをするためのマーカー登録をします。



マーカーを登録する

1 ファイルの再生する

- ・マーカー登録するファイルを選び、再生します。

2 [マーカー]キーを押す

- ・再生中に[マーカー]キーを押すと、その地点にマーカーが登録されます。
- ・マーカーが登録された時には、画面の「動作状態表示」の PLAY 文字が一瞬 MARK 文字に変わります。また、コントロールパネルでもそれを知らせる LED 表示をします。
- ・トリック再生(P73)中もマーカーが登録できます。
- ・再生中は、マーカーを解除できません。

マーカー位置の頭出しする

1 「記録映像画面」にする

- ・「記録映像画面」になっていなければ、テレビ放送または外部入力の映像が出ている状態で[記録映像]キーを押すと「記録映像画面」になります。

2 マーカー[] []キーを押す

- ・停止中にマーカー[] []キーで、登録済みマーカー位置の頭出しができます。
- ・[再生]を押すことで頭出しした位置からの再生が始まります。
- ・頭出しした場面で、[マーカー]キーを押すことにより、そのマーカー位置を解除できます。(マーカー位置の再設定は、停止中には行えません。)

パネル

注意：本体コントロールパネルからは、マーカーの登録・解除、マーカー位置の頭出しの操作は行えません。

ファイルインフォメーションの見方

ファイルインフォメーションのファイル名、ファイル設定の意味を説明します。



リモコンの[編集]キーを押すと左のようなファイルインフォメーション画面が表示されます。そこに表示される各項目のうち、ファイル名、ファイル設定の意味を説明します。

ファイル名

ファイル（記録映像）の名前です。録画や編集をしてできたファイルには自動的に名前がつけられます。

この名前によって一目で記録した受信チャンネル、日時が分かるようになってきます。ファイル名はユーザーが自分で分かりやすいように変更することも可能です。詳しくは「ファイル名変更(P92)」をご覧ください。

自動的に付けられたファイル名は、例えば次のようになっています。

例：06ch - 020120 - 210300
 (1) (2) (3)

(1)の部分は録画開始時の受信チャンネルまたは、編集によってできたファイルの場合にはその編集の種類を示します。

06ch：6チャンネルを録画したことを示します。^{†1}

in_V：ビデオ入力を録画したことを示します。

in_S：Sビデオ入力を録画したことを示します。

COPY：コピーしてできたファイルを表します。

SPLIT：分割してできた後半のファイルを表します。

RING：リングファイルを通常ファイルで保存したことを示します。

(2)の部分は録画開始年月日を示します。

020120：2002年1月20日に録画を開始したことを示します。

(3)の部分は録画開始時刻を示します。

210300：21時03分00秒から録画を開始したことを示します。

†1 録画中に録画している受信チャンネルを切り換えることができますが、ファイル名に使用される受信チャンネルは録画開始時のものとなります。

ファイル設定

ここに漢字一字のマークが表示されることがありますが、次のような意味があります。

保：「ロクラクメニュー」の「ファイル設定」でファイル保護設定をオンにしたファイルのとき表示されます。

編：ファイル編集の処理をしたことを示します。

新：録画終了後、一度も再生していないファイルのとき表示されます。
 録画中にそのファイルを再生した場合(録画中再生をした場合)も、録画終了後一度も再生していなければこのマークが表示されます。